

平成28年度事業報告について

公益社団法人佐賀県獣医師会定款第4条に規定した、獣医師道の高揚、獣医学術の振興・普及、獣医事の向上、獣医師の福祉の向上等を図ることにより動物に関する保健衛生の向上、畜産の振興、及び公衆衛生の向上に寄与し、県民の社会福祉の増進を目的として、本会の運営、事業の推進に努めました。その概要は次のとおりです。

(組織運営)

1. 会員数

区 分	H28. 3. 31 現在	年度中の増	年度中の減	H29. 3. 31 現在
会員数	238名	8名	5名	241名

2. 総会及び理事会

(1) 総 会

平成28年度通常総会を平成28年5月29日(日)佐賀市「グランデはがくれ」において、会員約70名が出席して開催し、事業報告・決算、事業計画・予算案など全議案を原案通り可決しました。

・付議し、承認及び議決された議案

第1号議案 平成27年度事業報告について

第2号議案 平成27年度収支決算について

第3号議案 平成28年度会費(案)について

第4号議案 役員報酬規程の改正(案)について

第5号議案 平成28年度役員報酬(案)について

第6号議案 預入・借入先並びに借入金限度額(案)について

第7号議案 役員選任(案)について

第8号議案 獣医師会館建設について

附帯決議

報告事項 平成28年度事業計画の承認について

報告事項 平成28年度収支予算の承認について

(2) 理 事 会

① 第1回理事会

開催日 平成28年 4月27日(水) 14時～

場 所 佐賀市 ロイヤルチェスター佐賀

議題等 ○業務執行理事の事業報告

○平成28年度通常総会の議案審議

○功労者表彰について

② 臨時理事会

開催日 平成28年 5月29日(日) 16時～

場 所 佐賀市 グランデはがくれ

議題等 会長(代表理事)等の選任について

③ 第2回理事会

開催日 平成28年 7月 6日(水) 14時～

場 所 佐賀市 ロイヤルチェスター佐賀

- 議題等
- 事業執行理事の事業報告
 - 第65回九州地区獣医師大会提出議案について
 - 九州地区獣医師大会功労者表彰の推薦について
 - 第33回動物愛護フェスティバルについて
 - 獣医師会館建設について
 - 学校飼育動物対策委員会運営要領の一部変更について

④ 第3回理事会

開催日 平成28年 11月6日(水) 14時～

場 所 多久市 佐賀県食鳥肉衛生協会

- 議題等
- 事業執行理事の事業報告
 - 獣医師会の事務所変更について
 - 動物診療所開設について
 - 被災動物救護活動事業について
 - 理事の自己契約について
 - 公益事業に係る変更認定申請について
 - 理事会等の計画について

⑤ 第4回理事会

開催日 平成29年 2月10日(水) 14時～

場 所 佐賀市 ロイヤルチェスター佐賀

- 議 題
- 事業執行理事の事業報告
 - 公益事業(案)について
 - 獣医師会事務局の移転について
 - 定款、規程、要領の制定、改正について
 - 平成29年度事業計画及び予算(案)について
 - 永年功労者の推薦について
 - 理事会等の日程について

(事業の報告)

I 公益1 人と動物が共生する社会環境の健全な発展を目的とする事業

1. 狂犬病予防事業

人と動物の共通感染症である狂犬病は、人が罹患した犬等に咬まれることにより感染し、発症するとほぼ100%死亡する病気です。犬の予防注射接種を徹底し、犬の集団免疫力を高め、発生を予防します。

本事業は、厚生労働省局長通達(昭和25年10月5日厚生省公衆衛生局長通知第170号)に基づき、県・市町と獣医師会が連携して狂犬病の予防を実施しました。

(1) 集合注射

狂犬病予防法等に基づき、佐賀県内市・町では毎年4月から6月迄の間に集合注

射が計画され、予防注射接種を獣医師会が事業として、その任務を果たしました。

(2) 個別注射

集合注射を受けることができなかった飼い主や、新たな犬の飼い主のため、会員動物病院で年間を通じ実施しました。

(予防注射の実績)

集合注射頭、17,236頭 個別注射 10,722頭 合計 27,958頭を実施しました。

・平成28年度狂犬病予防注射頭数 (報告済分)

支部名	集 合	個 別	計	対前年比
佐賀・神埼支部(佐賀)	3,686	4,048	7,734	▲197
佐賀・神埼支部(神埼)	961	192	1,153	2
小城・多久支部	1,515	785	2,300	▲120
鳥栖支部	2,057	669	2,726	▲471
唐津支部	2,493	1,875	4,368	▲204
西松浦支部	2,520	1,235	3,755	▲146
杵藤支部(杵島)	2,483	771	3,254	▲217
杵藤支部(藤津)	1,521	1,147	2,668	▲118
合計	17,236	10,722	27,958	▲1,471

(集合注射の実績)

地区名	期 間	実施箇所	派遣獣医師数
佐賀地区	4月 2日～4月23日(延べ22日間)	40箇所	11名
神埼地区	4月 3日～4月17日(延べ10日間)	23箇所	2名
小城多久地区	4月 4日～4月17日(延べ11日間)	23箇所	5名
鳥栖地区	4月 3日～4月24日(延べ10日間)	21箇所	5名
唐津地区	4月 8日～4月28日(延べ18日間)	52箇所	13名
西松浦地区	4月 6日～6月 9日(延べ20日間)	88箇所	9名
杵島地区	4月 5日～4月28日(延べ18日間)	46箇所	4名
藤津地区	4月 5日～4月24日(延べ15日間)	33箇所	3名

2. 狂犬病予防啓発事業

(1) 本会としての啓発活動

狂犬病予防の啓発を目的として、毎年4月から6月までの狂犬病予防月間に「狂犬病予防及び法令遵守」について、新聞等のマスコミを利用した広報を実施し、県や市・町と連携して、本会作成のポスターやチラシを行政機関の窓口で配布しました。

人と動物の共通感染症については、厚生労働省、農林水産省や公益社団法人日本獣医師会から情報を収集し、会員動物病院でポスターの掲示やチラシを配布し、本会ホームページにも掲載し、普及啓発活動を実施しました。

(2) 会員獣医師を通じた啓発活動

人と動物の共通感染症の予防や正しい知識の普及啓発を目的として、ポスターの掲示、またチラシの配布を行うとともに、動物飼育者に対し狂犬病予防の正しい知識について指導する等、積極的に普及啓発活動を実施しました。

3. 動物愛護普及啓発事業

動物愛護及び管理に関する法律（昭和48年10月1日法律第105号）に基づき、県民の動物愛護思想の普及啓発・定着化を目的として、取り組みました。

(1) 動物保護管理推進事業

① 「第33回動物愛護フェスティバル佐賀」の開催

佐賀県民に動物愛護についての関心と理解を求めため佐賀県と本会が共催し、NPO等の協力により下記のとおり開催しました。

優良飼育者及び学校図画コンクールの優秀作品の表彰、動物ふれあい広場、ペットなんでも相談、動物の譲渡情報掲示等、会場は親子連れなどで終日賑い、盛会に開催することができました。

- 開催日 平成28年10月30日(日)
- 開催場所 佐賀市天神「どんどんの森公園（ふれあい広場9）」
- 主な事業

ア・優良飼育者表彰(6組7名)

佐賀市	中尾 日出海 様	武雄市	松山 広信 様
武雄市	馬渡 公子 様	武雄市	松山 勝彦・鈴子 様
小城市	中村 正 様	佐賀市	力久 敏美 様

イ・小学校児童の図画コンクール表彰

応募数116校 2, 679点 最優秀賞3名 優秀賞3名 佳作18名
浜 小学校 1年 松本 龍磨 様 明倫小学校 4年 笠原 絆 様
中原小学校 6年 塚本 正貴 様

入賞図画はすべて会場に展示されました。

ウ・ペットなんでも相談（担当会員 2名 相談件数 66件）

エ・譲渡犬の同窓会

オ・人と動物の共通感染症講演（人と動物の共通感染症パネル展示9

カ・動物ふれあいコーナー

キ・動物図画コンクール入賞作品展示

ク・イヌ、ネコの譲渡情報の掲示（佐賀県）

ケ・ペットグッズ手作り体験コーナー

コ・動物折り紙お絵かきコーナー

サ・マイクロチップ避難グッズ展示コーナー

シ・鷹匠による実演（鷹とのふれあい）

サ・動物いろいろクイズラリー

② 休日当番獣医師制度の運用

適切な動物の保護・管理の普及・啓発を目的として、休日における動物飼養者の利便に対応するため、動物病院休日診療当番医師制度を運用しました。

新聞に休日在宅獣医案内を掲載するとともに、「動物病院の休日当番」案内専用フリーダイヤル（0120-797411 なくなよワンワン）を開設し、緊急の疾病等に対応しました。

受診実績（報告分） 診療件数 239件 電話相談 111件

休日診療案内専用フリーダイヤル アクセス件数 1,659件

③ 小動物診療相談窓口の設置

犬、猫等の小動物のペットの動物病院での診療に関する県民の相談に応じるため、「小動物診療相談窓口」を開設し、診療に関する相談を受け付けました。

④ 犬猫避妊等手術助成事業

1) 犬猫避妊手術助成事業

適切な飼育方法の普及・啓発を行うと共に、飼育できなくなって処分される不幸な犬や猫を少なくするため、雌犬・雌猫の避妊手術を受けた場合に、費用の一部を本会が助成しました。

(実績) 犬避妊手術助成件数 99頭、猫避妊手術助成件数 118頭

2) 譲渡犬猫不妊去勢手術助成事業 (佐賀県委託事業)

適切な動物の保護・管理の普及・啓発を目的として、飼育できなくなって処分される不幸な犬や猫を少なくするため、佐賀県が保護した犬猫を、佐賀県譲渡センターで新たな飼育者を募集しています。また、譲渡された犬猫の不妊去勢手術を動物病院で受けた場合に飼養者が負担すべき費用の一部を佐賀県が助成するもので、本会がその事業を受託し実施しました。

(実績) 犬不妊手術助成件数 3頭 犬去勢手術助成件数 4頭

猫不妊手術助成件数 4頭 猫去勢手術助成件数 1頭

⑤ 傷病野生鳥獣救護事業

佐賀県が実施している傷病野生鳥獣救護事業が円滑に実施できるよう、県民が保護した傷病野生鳥獣を会員が治療を施す等、一定期間保護・観察し事業に協力しました。

傷病動物保護報告 7件

⑥ 野生動物救護対策事業

「絶滅の恐れがある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日法律第75号)に基づき、九州地区獣医師会連合会に「希少野生動物保護支援協議会」が平成25年4月に発足し、長崎県 ツシマヤマネコ、鹿児島県 アマミノクロウサギ、宮崎県 都井岬馬の保護活動に対する支援が実施されており、本会も負担金を拠出し事業の推進に協力しました。

⑦ 福祉介護動物等医療助成事業

「身体障害者補助犬法」(平成14年5月29日法律第49号)で認定された盲導犬等の、感染症の予防と健康管理・保持を図ることにより、視覚障害者等の社会参加を促進する目的で、ワクチン等予防接種、投薬、診療等の費用を助成しました。

盲導犬診療助成 2件

⑧ 学校飼育動物対策事業

小学校の動物飼育に対し、正しい動物の飼い方等を指導することにより、命の大切さ・動物愛護の情操教育の一助になるよう取り組みました。

本会や会員による電話相談窓口を開設し、飼育動物の健康診断、動物介在体験学習、診療、飼育指導・助言等の要望に対応しました。

ア・平成28年度 第1回学校飼育動物対策委員会

平成28年8月4日(木) 佐賀市 ロイヤルチェスター佐賀

イ・平成28年度 第2回学校飼育動物対策委員会

平成29年3月8日（木） 佐賀市 ロイヤルチェスター佐賀
ウ・県内小学校に対する「学校飼育動物に関する相談窓口について」の周知

平成28年8月22日付け佐獣第35号 添付資料 支援実施要領 相談窓口一覧

・平成28年度 支援実績（報告分）

年月日	相談学校名	相談内容
28. 4. 15	佐賀大学付属小学校	ウサギ飼育相談来院 餌料 抗生剤処方
28. 8. 17	中原小学校	ウサギ 左眼・左顔浮腫で来院 抗生剤処方
28. 9. 5	三日月小学校	ウサギ 多頭飼育の 飼育相談（電話相談）
28. 10. 4	三日月小学校	ウサギ 学校現地で多頭飼育の飼育指導 飼育舎の改善、避妊対策指導
28. 11. 4	三日月小学校	ウサギ 学校現地でウサギの雌雄鑑別 ウサギ7羽去勢手術
28. 12. 27	西郷小学校	ウサギ 来院 左頬・左下顎の膿瘍 麻酔下で膿瘍切開・患部洗浄 入院措置 抗生剤処方
29. 1. 16	西郷小学校	ウサギ 来院 左頬鼻腔膿瘍洗浄、抗菌剤充填 抗生剤処方
29. 1. 30	三日月小学校	ウサギ 学校現場で新たな飼育担当児童に飼育指導
29. 2. 7	三田川小学校	ウサギ 学校現場で皮膚病の相談 （診察の結果ケンカによる咬傷と判明 背・臀部） 西郷小学校への譲渡、去勢を指導
29. 2. 25	西郷小学校	ウサギ 来院 右鼻の痂皮の治療依頼 下顎痂皮の抜糸措置 左側上顎からの排膿確認 抗生剤処方

⑨ 被災動物救護活動事業

天災・人災など不測の緊急災害において、被災動物救護活動を実施し、また現地動物救護本部等が行う被災したペットの救護に関する事業を支援しました。
具体的には、下記の事業を実施しました。

ア. 被災地における、被災動物等への救護活動への会員派遣。

実績 無し

イ. 地震等の被災者が同行避難した被災ペットを会員動物動病院で一時預かり。

実績 無し

ウ. 「九州災害時動物センター」等において、一時保護された被災動物の診療管理業務に会員獣医師を派遣しました。

派遣実績

- ・平成28年12月11日（日） 2会員
- ・平成29年 1月22日（日） 2会員
- ・平成29年 3月 5日（日） 2会員

⑩ マイクロチップによる個体識別事業の推進について

犬や猫等の家庭飼育動物は、その動物が自分の所有であることを明らかにするためマイクロチップの装着などに努めるよう、動物愛護管理法で定められております。

家庭飼育動物の個体識別の更なる普及を推進し、マイクロチップ番号の読取体制の充実のため、会員動物病院にマイクロチップを配布すると共に、マイクロチップリーダーを貸与いたしました。

ア. マイクロチップの配布

- ・配布先：小動物病院開業会員 36 会員
- ・配布数；1 会員 2 個

イ. マイクロチップリーダーの貸与

- ・貸与先：小動物病院開業会員 13 会員
- ・貸与数；1 会員 1 台・
- ・貸与期間 5 年間

4. 家畜衛生及び畜水産業振興支援事業

畜産の振興並びに安全・安心な畜水産物の生産・供給を図り、国民の食生活の向上に寄与するため、畜産関係団体、公衆衛生団体等と連携し、団体が推進する事業に協力・支援しました。

(1) 畜産関係指導普及事業

① (公社) 佐賀県畜産協会が実施する防疫推進事業や特定疾病予防接種推進事業、佐賀県農業共済組合連合会が実施する家畜共済事業に係る指定獣医師について、本会が推薦した獣医師が従事し、事業の推進に寄与しました。

- ・ (公社) 佐賀県畜産協会 指定獣医師 28 会員

・ 畜産協会 平成 28 年度 特定疾病予防接種推進事業実績 (H28. 4~H29. 3)

畜種	ワクチン					合計頭羽数
牛	5 種 混 合 (含・不活化)	異常産	イバラキ病	ヘモフィルスソムナス 感染症	牛5混ヘモ	13, 114頭
	1, 301頭	4, 931頭	1, 754頭	1, 145頭	5, 734 頭	
豚	丹 毒	日脳・パルポ				4, 546頭
	4, 266頭	280頭				
鶏	ND生	ND I B 生				545 千羽
	248 千羽	297 千羽				

*ND ニューカッスル病ワクチン *ND I B ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎混合ワクチン

- ・ 佐賀県農業共済組合連合会 指定・嘱託獣医師 23 会員

・ 佐賀県農業共済組合連合会 平成 28 年度 畜種別診療等件数

共済目的	加入頭数	病 類	呼吸器病	消化器病	生殖器病	その他	頭件総計
成乳牛	2, 121	傷病事故	46	429	916	1, 507	2, 898
		(死廃)	9	106	1	180	296
育成乳牛	170	傷病事故	4	19	13	11	47
		(死廃)	0	2	0	1	3

乳用子牛	208	傷病事故	16	23	1	10	50
		(死廃)	0	4	0	3	7
乳用子牛等	2,204	傷病事故	116	165	0	145	426
		(死廃)	14	17	0	119	150
肥育用成牛	34,093	傷病事故	9,479	12,295	5	2,683	24,462
		(死廃)	139	232	0	179	550
肥育用子牛	130	傷病事故	555	72	0	24	651
		(死廃)	12	3	0	18	33
その他の肉用成牛	12,273	傷病事故	1,238	1,222	2,990	1,046	6,338
		(死廃)	16	85	0	122	222
その他の肉用子牛	2,619	傷病事故	1,882	760	7	136	2,785
		(死廃)	25	16	0	13	54
その他の肉用子牛等	11,140	傷病事故	3,939	3,500	5	684	8,124
		(死廃)	70	119	0	348	537
計	64,958	傷病事故	17,275	18,485	3,937	6,246	45,943
		(死廃)	285	584	1	983	1,852

*病類の内 診療件数の上位3病類を記載しています。

② 第13回佐賀県和牛改良組合共進会

佐賀県の和牛改良と優良牛の生産拡大及び和牛生産者の経営安定を図ることを目的に、第13回共進会が開催され、本会も協賛し副賞として獣医師会長賞贈呈しました。

・期日 平成28年12月5日(月)

・場所 多久市 JAさが畜産センター

県内6ブロックにから選抜された4部門に48頭が出品され、全国和牛登録協会の審査基準により審査されました。

・出品 雌子牛の部 16頭 去勢子牛の部 16頭
未経産の部 8頭 経産の部 8頭

審査の結果 グランドチャンピオンは 未経産の部 はるひ号(みどり地区 東島誠二氏)が選出されました。

特別賞には 子牛雌の部 みすず号(生産者 みどり地区 水田武次郎氏)

団体賞はみどり地区和牛改良組合が受賞されました。

獣医師会長賞は 経産の部 くみ号(からつ地区 松本秀一郎氏)に贈呈しました。

③ 鶏病技術研修会

鶏病研究会佐賀県支部が開催する協賛し、鶏衛生技術管理、鶏疾病発生防止対策に係る鶏病技術研修会に協賛し、参加いたしました。

・期日 平成28年9月21日(水)14時～

・場所 佐賀県 中部家畜保健衛生所

・研修内容

ア. 会員からの研究発表

- イ. 特別講演 「鶏舎におけるネズミ等有害獣の防除対策」
講師 日本ペストコントロール協会 古賀 幸弘 氏

(2) 獣医公衆衛生指導普及事業

医師会と獣医師会が共通テーマとして推進している人と動物「One-Health」及び熊本地震に係る被災動物の救援センターにおける被災ペット動物の診療について、県・市町行政担当者に参加を呼びかけ、講演会を実施しました。

講演終了後、多くの質疑が交わされ、参加者の関心の高さが感じられました。

- ・日時 平成28年11月19日(土) 15時30分～
- ・場所 佐賀市 サンシティビル
- ・演題等
- ・演題 「ワンヘルスについて」
- ・講師 佐賀県生活衛生課 山住 雅之 氏
- ・演題 「九州災害時動物救援センターについて」
- ・講師 佐賀県唐津保健福祉事務所 野田 豊 氏

II. 公2 学術の振興を目的とする事業

獣医師は、人と動物の共通感染症や動物特有の感染症の発生防止を通じて人と動物が共生できる社会の構築を目指しています。国民への動物感染症の予防と公衆衛生の向上に寄与するため、大会・獣医学術学会に参加し、講習会等の事業を実施しました。

1. 第65回九州地区獣医師会大会並びに平成28年度獣医学術学会(九州地区)

- ・平成28年10月16日(日)
- ・北九州市八幡東区 千草ホテル

(1) 第65回九州地区獣医師会大会

第65回九州地区獣医師会大会・平成28年度獣医学術九州地区学会は北九州市で開催され、九州、沖縄各県・市獣医師会から約600名が参加し、「人と動物が共生できる成熟社会を目指して」を大会テーマに開催されました。

大会委員長である北九州獣医師会西間会長は挨拶で、熊本地震の被災動物救護支援活動の協力を要請され、「国民の期待に応えるため、広範多岐にわたる専門職である獣医師が社会的使命を果たすべく、越境感染症に対する防疫体制の整備・強化、獣医療提供体制の整備・充実、動物福祉の推進、獣医師人材の育成・強化等の実現を目指そう。」と決意を表明されました。

来賓の日本獣医師会の藏内勇夫会長は「獣医療は国民生活のあらゆる分野に貢献している、日本獣医師会は地方獣医師会のためにある、様々な課題解決は地方獣医師会と車の両輪となって、あらゆるチャンネルを駆使し獣医師の社会貢献を国民に認知して貰い、医師会との連携を強化し One-Health の重要な課題解決を強化する。」と述べられ、また平成28年11月に北九州市で開催される「第2回世界獣医師会・世界医師会 One-Health 国際大会」「2016動物感謝デー」等への協力を要請されました。

功労者表彰では、日本獣医師会会長表彰を梅崎 信孝 先生、九州地区獣医師会連合会会長表彰を下平 裕之先生、が受賞されました。

議長に北九州市獣医師会会長の西間会長が議長に選出され、議案が審議されました。大会に提出された報告、議案等は下記のとおりです。

① 第64回大会決議事項についての経過報告

昨年度の熊本県獣医師会 穴見会長から、決議等の経過報告がなされ満場一致で承認されました。

② 大会テーマ・大会スローガン、大会提出議案、大会決議、大会宣言が提案され、全会一致で採択されました。決議した大会議案は要望書とまとめ、日本獣医師会を通じ、国の関係機関及び国会へ提出することとされました。

なお、次回大会・学術の日程について、当番県の沖縄県獣医師会波平会長より、平成29年10月16日（日）沖縄県宜野湾市沖縄コンベンションセンターにて開催予定であることが報告されました。

ア 大会テーマ

「人と動物が共生できる成熟社会を目指して」

イ 大会スローガン

1. 「One World-One health」理念を推進しよう。
2. 災害時の動物支援体制を構築しよう。
3. 食の安全と防疫体制強化に必要な人材の確保を図ろう。
4. 健全な動物愛護精神の普及に努めよう
5. 獣医師養成における職業倫理教育の徹底を図ろう。

ウ 大会提出議案

第1号議案 災害時動物救援体制の整備と相互支援の効率的な連携について

第2号議案 人と動物の共通感染症に対する医療・獣医療の連携強化構築について

第3号議案 女性獣医師の活用を含む産業動物診療獣医師及び勤務獣医師の処遇改善と人材確保について

エ 大会決議

九州各県・市獣医師会から提出された3議案は、いずれも獣医師の社会的使命を果たすため重要な課題であり、九州各県・市獣医師会が一致団結して問題解決に邁進しなければならない。ここに、第65回九州地区獣医師大会において次のとおり決議する。

記

- 1 災害時動物救護体制の整備を強化すること。
- 2 「One Health」人と動物の健康と環境の向上を図ること。
- 3 女性獣医師の活用を含む産業動物診療獣医師及び勤務獣医師の処遇改善と人材確保を図ること。

平成28年10月16日

第65回 九州地区獣医師大会

オ 大会宣言

本年 4 月に発生した熊本地震は、九州は地震が少ないという漠然とした思いに反し、想像を超える被害をもたらした。九州有数の畜産地帯である阿蘇地方での多数の牛舎の倒壊をはじめ、避難生活をする方々の伴侶動物の健康管理など、我々獣医師の支援活動が広く求められた中で、いち早く福岡県獣医師会の「VMAT」を主力とした動物救援チームによる被災動物への獣医療の提供や九州災害時動物救援センターの開設ができたことは画期的なことであった。一方、海外に目を向けると、中国や韓国などの近隣諸国では、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザが継続的に発生しており、また、多くの国で、狂犬病の発生が報告されている中で、これらの越境性感染症の人や動物を介した国内への侵入リスクは極めて高いものがある。

このような情勢を踏まえ、我々は、自然災害に対する危機管理意識の高揚を図るとともに、防疫体制の強化、畜産業の振興、安全・安心な食の提供、健全な動物愛護精神の普及、さらには、人と動物の健康と環境の保全を推進する「One World—One Health」の実践を通じて、国民の健康と生活の向上に努めなければならない。

ここに、第 65 回九州地区獣医師大会の開催に当たり、「人と動物が共生できる成熟社会を目指して」をテーマに、獣医師の英知を結集し、豊かで活力あふれる九州の発展のため、大きく躍進することを誓うものである。

平成 28 年 10 月 16 日

第 65 回九州地区獣医師大会

(2) 獣医学術学会九州地区学会

平成 28 年度獣医学術学会九州地区学会は、千草ホテルで午前 9 時から開催され、産業動物学会 2 会場 小動物学会 2 会場 獣医公衆衛生学会 1 会場の 5 会場で、111 題の研究発表が発表されました。各会場とも参加者は発表内容に熱心に耳を傾け、研究内容に対する質疑や意見交換が行われ、時間を超過する会場もありました。

本会からは産業動物獣医学会 大坪 利豪先生 山口 博之先生 小動物獣医学会 古川 彰宏 先生 古川 恵子 先生がそれぞれの分野の研究発表を行いました。

また学会の座長を（産業 I）山崎 勝義 先生、（小動物 1）古川 彰宏先生、（獣医公衆衛生）江頭 泰子先生が務められました。

本会から、大会及び学術学会には、大会・学会役員、功労表彰受賞者、学術学会発表者、一般参加者、運営スタッフ等 27 名が参加しました。

2. 第 2 回世界獣医師会・世界医師会 One—Health に関する国際会議

・期日 平成 28 年 11 月 10 日（木）～11 日（金）

・場所 北九州市 リーガロイヤルホテル小倉

第 2 回世界獣医師会・世界医師会の国際会議が開催されました。

この会議は、獣医師と医師両者の 2 つの国際団体と日本獣医師会及び日本医師会との共催で開催され、人と動物の健康並びに環境の保全を一体として対応する、One—Health の理念に共感し、獣医師と医師のみならず公衆衛生や社会科学専門家、野生生物学者、環境科学者等が国内外から 600 名（海外 31 ヶ国）を超える関係者が集い、相互の垣根を越

えて熱気ある議論が展開されました。

開会式は秋篠宮殿下・妃殿下の出席をお迎えして開催され、我が国や国際的に One-Health の概念を理解することから学術的なアプローチを実施することへの重要性を進める絶好の機会になることが期待されました。

この国際会議のメインテーマとして、One-Health に関連し、1 つに、振興及び再興する世界規模の人と動物の共通感染症対策、2 つ目に、アジア地域で最も拡大進行している薬剤耐性 (AMR) 抑制対策について、国内外、特にアジア地域の専門家からの報告が注目されました。

最終日に、福岡宣言が採択され、今後も One-Health の概念に基づき行動し、実践する段階に進む決意が宣言されました。

(資料 福岡宣言 参照)

3. 平成 28 年度日本獣医師会 獣医学術学会年次大会 (石川大会)

獣医師及び獣医学術関係者が全国各地から参集し、日本獣医師会主催のシンポジウム、地区学会学会長賞受賞者の研究発表や教育講演会等が実施され、獣医事に係る課題等について討議されました。

- ・期日 平成 29 年 2 月 24 日 (金) ~ 26 日 (日)
- ・会場 金沢市 石川県立音楽堂、金沢市アートホール、ホテル金沢、
ホテル日航金沢
- ・本会出席 3 名

4. 講習会・研修会開催事業

会員の学術の研鑽と獣医療技術の向上並びに畜産の振興、公衆衛生の向上、動物愛護及び社会福祉の向上を目的に、産業動物部会、小動物部会、公衆衛生部会ごとに下記の講習会・研修会を実施しました。

九州各県・市獣医師会の会員及び畜産関係者・公衆衛生関係者の出席を呼びかけました。

(1) 産業動物部会

産業動物に関わる獣医学術の研鑽を図ることが、人への動物感染症の予防と畜産業振興に寄与することを目的として、下記のとおり「第 1 回産業動物部会講習会」を開催しました。なお平成 29 年 2 月 4 日に、県内の農場に高病原性鳥インフルエンザが発生したため「第 2 回産業動物部会講習会」は中止しました。

① 第 1 回産業動物講習会

感染症の予防と生産技術の向上が畜産業振興に寄与することから、肉用牛に係る研修会を開催しました。パワフルさが畜産実践プロジェクト推進委員会、(公社) 佐賀県畜産協会、佐賀県畜産技術者連盟との四者合同で開催し、県内の畜産関係者へ出席を要請しました。

ア. 日時 平成 28 年 9 月 15 日 (火) 13 時～

イ. 場所 佐賀市 アバンセ

ウ. 演題・講師等

- ・基調講演 「T P P と日本の肉用牛生産の課題」
講師 九州大学大学院 教授 福田 晋 氏
- ・一般講演 「和牛をめぐる国内外の情勢と課題」
講師 近畿大学生物理工学部 教授 入江 正和 氏
- ・事例紹介
「佐賀牛の振興について」
J A さが 畜産酪農部 技術参与 立野 利宗 氏
「畜産農家に対する飼養管理技術向上支援活動について」
佐賀県農業技術防除センター 専門技術員 早田 文博 氏
- ・受講者 135名 (会員29名 市町・JA関係者106名)

② 第2回産業動物部会講習会 (中止)

- ア. 日時 平成29年3月10日 (金) 14時30分
- イ. 場所 佐賀市 グランデはがくれ
- ウ. 演題 「黒毛和種牛の健全な育成に必要な考え方」
- エ. 講師 みやざき農業共済組合 上松 瑞穂 氏

(2) 小動物部会

① 症例検討会 (講習会)

平成28年6月4日 (日) 鳥栖市 J A グリーンパレスにて開催され、21名が参加し8名が臨床症例を発表し、熱心な質疑・意見交換がなされました。昼休みを利用してランチョンセミナーも開催され、猫の糖尿病に係る治療事例等について研修を受けました。

ランチョンセミナー ベーリンガーインゲルハイムベトメディカジャパン (株)
「アポキル錠～特徴と概要について～」

② 小動物講習会

獣医学術の研鑽及び獣医療技術の向上が、人への動物感染症の予防と公衆衛生の向上や動物愛護に寄与することを目的に開催しました。また、日本獣医師会の「獣医師生涯研修ポイント」対象講習会の認定を受け、県外の獣医師にも参加を呼びかけ、多数の受講者があり熱心に受講しました。

ア第1回講習会

- ・平成28年8月28日 (日) 鳥栖市 J A グリーンパレス
- ・講師 鳥取大学農学部共同獣医学科 准教授 原田 和記先生
- ・演題 「伴侶動物臨床における抗菌剤治療の実際」
ランチョンセミナー ゾエティス・ジャパン (株)
「アポキル錠～特徴と概要について～」

イ第2回講習会

- ・平成28年11月27日 (日) 鳥栖市 J A グリーンパレス
- ・講師 北里大学獣医学部獣医学科 講師 岩井 聡美 先生
- ・演題 「マイクロサージェリーとその適用症例」
ランチョンセミナー D S ファーマバイオメディカル (株)
「明日からの診療に役立つ抗菌薬情報」

(3) 公衆衛生部会

食品衛生及び公衆衛生に関わる獣医学術研鑽を図ることが、人への動物感染症の予防と公衆衛生の向上に寄与することを目的に「公衆衛生部会講習会」を開催しています。

医師会と獣医師会が共通テーマとして推進している人と動物「One-Health」及び熊本地震に係る被災動物の救援センターでの被災ペット動物の診療について講演を実施しました。

ア・日時 平成28年11月19日(土) 15時30分～

イ・場所 佐賀市 サンシティビル

ウ・演題等

- ・演題 「ワンヘルスについて」
- ・講師 佐賀県生活衛生課 山住 雅之 氏
- ・演題 「九州災害時動物救援センターについて」
- ・講師 佐賀県唐津保健福祉事務所 野田 豊 氏

Ⅲ. 収益事業

1. 獣医療証明書等頒布事業及び保有資産賃貸事業

1. 獣医療証明書等の作成頒布

獣医師法、獣医療法、動物薬事法等で診療の際に義務付けられている証明書について統一した様式を作成し、頒布しました。

頒布実績(平成28年4月～平成29年3月)

様式名	頒布数量
予防接種証明書(A様式)	125
予防接種証明書(B様式)	74
指示書	34
病症事故診断書(B4)	63
病畜等診断書(A4)	66
家畜診療簿	0
狂犬病予防注射証明書	145
個別注射集計表	15

2. 保有資産の有効活用

本会が保有している財産(土地)を貸付し、有効活用しました。

- ・財産の種類 土地
- ・所在地 佐賀市高木瀬町大字長瀬
- ・面積 690.15㎡ 賃貸料 月額 5万円

Ⅳ. その他の事業

1. 会員相互扶助事業

会員の福利向上の充実を図り、本会の公益目的事業の円滑な推進に資するため次の事業を実施しました。

1. 親睦事業 (会員相互の親睦・融和を図るため親睦事業を開催)
 - ・懇親会 平成28年 5月29日(日) 総会時に懇親会を開催
 - ・親睦ゴルフ 平成28年10月2日(日) 多久市 天山カントリークラブ
 成績 優勝 川副 修 先生 (小城・多久支部) NET 73,2
 準優勝 馬場 喜壽 先生 (小城・多久支部) NET 75,4
 ドライブコンテスト賞 竹下 勇 先生 (中央支部)
 ニアピン賞 原 忠人 先生 (杵藤支部)
 木之下 明弘 先生 (杵藤支部)
2. 獣医事事業 (獣医事に係る課題の検討、情報の提供)
 - ・日本獣医師会や農林水産省、厚生労働省、環境省等からの獣医事に係る情報を会員に対し、ホームページへの掲載や、文書送付により提供しました。
3. 福利・研修事業 (各種獣医師共済制度の照会・加入促進及び日本獣医師会や各県・市獣医師会、学会が開催する研修会の参加案内)
 - ・日本獣医師会が実施する、獣医師及び動物病院を対象とする各種の共済保険、賠償保険について会員に情報をホームページ掲載や、文書送付により提供しました。
 - ・九州各県・市獣医師会や各獣医学会が開催する講習会・講演会への参加案内を実施しました。
4. 学術奨励 (獣医学術学会等が主催する学会等の研究発表への奨励費の交付)
 - ・獣医学術学会九州地区大会の発表者3名に対し、発表奨励費を交付しました。
5. 慶弔 (会員及び家族等への慶弔規定による給付)
 - ・結婚祝 1件 ・供花 9件 ・香典 2件 を給付しました。
6. 表彰 (表彰規程による功労会員への表彰、及び日本獣医師会会長表彰、九州地区獣医師会連合会会長表彰の推薦)
 - ・平成28年度通常総会において 永年功労者10名が表彰されました。
 - ・第65回九州地区獣医師大会において、日本獣医師会会長表彰1名、九州地区獣医師会連合会会長表彰1名が表彰されました。

V. その他関連する事業

1. 獣医療整備検討委員会の開催について

口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等の悪性伝染病の発生や、東北大震災及び原発事故や継発した台風等の自然災害の発生は広域的な獣医療体制の整備の必要性が求められ、その方策として獣医師の人材確保が喫緊の課題となっています。また、人と動物の共通感染症の流行抑制への関心や、食品の安全性確保に関する意識が高まる中で、獣医療関係者と医療関係者の密接な連携が求められています。さらに「家畜伝染病等の発生時における防疫対策に関する協定」や「災害時の愛護動物救護応援協定」の締結等、地域における行政機関や医師会との連携が求められています。これらの要請や獣医師会運営の課題等に対応するため、獣医療体制整備委員会を設置しています。

委員会では、獣医師会事務局の移設や公益目的事業のあり方等について審議しました。

- ・日時 平成28年10月25日(水) 14時00分～
- ・場所 多久市 佐賀県食鳥衛生協会

・協議事項

- ① 獣医師会事務局の移転について
- ② 公益目的事業のあり方について
- ③ 譲渡犬猫不妊去勢手術費助成事業について
- ④ マイクロチップによる個体識別について

2. 佐賀県医師会との学術協力について

人と動物の共通感染症の流行制御への関心や、食品の安全性確保に関する意識が高まる中、医師と獣医師が緊密に連携し、安全で安心な社会を構築することを目的とし「One-World、One-Health」の概念のもとに佐賀県医師会と「学術協力の推進に関する協定」を平成26年11月1日付で締結いたしました。

日本獣医師会から提供されます日本医師会との学術協力に係る情報の提供や、共通感染症シンポジウムの開催について佐賀県と協議を進めました。

3. 獣医師会事務局の移転について

獣医療整備検討委員会や理事会で検討を重ね、現事務所の課題等を解消するため、事務所移転の意見が集約されました。

- ・平成28年10月25日第1回獣医療整備検討委員会で移転について協議
- ・平成28年11月6日平成28年度第3回理事会で移転について協議及び決定
- ・平成29年2月15日平成28年度第4回理事会で総会議題として提出を決議

【婦人会館から移転する理由】

- ①婦人会館の駐車場が狭隘となり会議などがやりにくくなったこと。
- ②駐車スペースが少なく来訪者に不便が強いられていること。
- ③事務所が3階にあるため、来訪者から苦言があること等

【新事務所に移転する理由】

- ①執務室の床面積（現況の約2倍）が広いこと。
- ②休憩室や更衣室が備わっていること。
- ③駐車場のスペースが十分であること。
- ④事務所などの賃借料が安価であること
- ⑤県中央部（多久市納所）で県内会員の利便性が向上すること
- ⑥事務所は1階で出入りが安易なこと等。

4. 獣医師の人材確保及び獣医療体制整備の要請活動について

(1) 獣医師の人材確保についての要請活動

日本獣医師会は地方獣医師会と協力して、公務員獣医師の人材確保に係る処遇改善について活動を展開しています。

日本獣医師会と連携して、本会は、12月8日に要請書を提出し、処遇改善の実施を要請しました。

- (要請先) 佐賀県知事
佐賀県人事委員会委員長

(2) 獣医療体制整備についての要請活動

第65回九州地区獣医師大会で決議された大会提出議案を、獣医療体制整備要望書として作成され、九州地区獣医師会連合会会長及び九州各県・市獣医師会長の連名で国及び関係機関に対し要望書として提出することとされました。

本会は、12月8日に佐賀県知事、佐賀県議会議長に提出し、要望事項の実現に向けて協力を要請しました。

5. 諸会議、行事、その他について

(1) 獣医界情報や獣医師会の事業報告、会員相互の連携を図るため、獣医会報第33号、第34号を発行しました。

佐賀県獣医師会ホームページに、会員及び県民に向けた獣医事情報の提供・発信に努めました。

(2) 当会が主催する諸会議、支部や部会の総会・行事、関係機関や団体の会議等へ参加した行事等については、事務局日誌のとおりです

事務局日誌

月 日	行 事	場 所
4. 7	九州地区獣医師会連合会総会	熊本市 熊本ホテルキャッスル
4. 13	監査会	佐賀市 婦人会館
4. 16	佐賀県畜産公社 畜魂祭	多久市 佐賀県畜産公社
4. 16	西松浦支部総会	伊万里市 牛車
4. 19	小城・多久支部総会	多久市 多久シティホテル松屋
4. 20	杵藤支部総会	武雄市 陣屋
2. 22	中央支部総会	佐賀市 グランデはがくれ
4. 27	獣医学術九州地区三学会幹事会	北九州市 千草ホテル
4. 27	第1回理事会	佐賀市 ロイヤルチェスター佐賀
5. 17	唐津支部総会	唐津市 御宿海舟
5. 21	公衆衛生部会総会	佐賀市 グランデはがくれ
5. 29	平成28年度通常総会	佐賀市 グランデはがくれ
6. 2	鶏病研究会総会・第1回鶏病技術研修会	佐賀市 グランデはがくれ
6. 5	小動物部会症例検討会	鳥栖市 JAグリーンパレス
6. 9	九獣連会長・事務局長・担当者会議	北九州市 千早ホテル
6. 9	佐賀県畜産協会臨時理事会	佐賀市 JA会館別館
6. 10	佐賀県畜産協会衛生事業検討会	佐賀市 JA会館別館
6. 22	日本獣医師会第73回通常総会	東京都 明治記念館
6. 29	佐賀県畜産協会定期総会	佐賀市 JA会館6階大会議室
7. 6	第2回理事会	佐賀市 ロイヤルチェスター佐賀
7. 8	平成27年度全国獣医師会事務・事業推進会議	東京都 明治記念館
7. 21	佐賀県医療関係団体連合会役員会	佐賀市 ホテルニューオオタニ佐賀
7. 22	佐賀県家畜衛生職員会総会	佐賀市 グランデはがくれ
7. 27	家畜伝染病防疫協定締結式	県庁 新行政棟4階庁議室
8. 4	第32回佐賀県和牛改良組合協議会総会	多久市 JAさが酪農指導センター
8. 9	九州各県・市獣医師会会長・事務局長会議	北九州市 千草ホテル
8. 19	第24回佐賀県畜産共進会運営委員会	佐賀市 JA会館別館階大会議室
8. 23	畜産協会家畜衛生対策関係事業推進委員会	佐賀市 グランデはがくれ
8. 28	第1回小動物講習会	鳥栖市 JAグリーンパレス
9. 1	農場 HACCP 認証支援普及推進委員会・研修会	佐賀市 JA会館別館
9. 1	平成28年度佐賀県家畜人工授精師協会通常総会	武雄市 割烹 古賀
9. 15	平成28年度パワフル・畜技連合同研修会	佐賀市 アバンセ
9. 21	三役会議	佐賀市 事務局
9. 21	第2回鶏病技術研修会	佐賀市 中部家畜保健衛生所
10. 7	家畜防疫協定団体合同連絡会議	佐賀市 県新行政棟 特別会議室
10. 12	産業動物部会役員会	佐賀市 佐賀中部家畜保健衛生所

10. 14	畜産協会死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業協議会	佐賀市 グランデはがくれ
10. 14	畜産協会馬飼養衛生関係事業対策検討委員会	佐賀市 グランデはがくれ
10, 16	第65回九州地区獣医師大会・学会	北九州市 千草ホテル
10. 25	獣医療体制整備委員会	多久市 食鳥肉衛生協会
10. 28	佐賀県高病原性鳥インフルエンザ防疫演習	佐賀市 大町町
10. 30	第33回動物愛護フェスティバルさが	佐賀市 どんどんの森公園
11. 7	佐賀県畜産協会臨時理事会	佐賀市 グランデはがくれ ¹
11. 9	全国獣医師会会長会議	北九州市 リーガロイヤルホテル小倉
11. 10	世界医師会・世界獣医師大会(～11日)	北九州市 リーガロイヤルホテル小倉
11. 12	2016 動物感謝デー in JAPAN	北九州市 汐風公園
11. 16	第3回理事会	多久市 食鳥肉衛生協会
11. 19	公衆衛生部会講習会	佐賀市 サンシティビル
11. 20	今村雅弘復興大臣就任祝賀会	佐賀市 ニューオオタニ佐賀 ¹
11. 27	第2回小動物講習会	鳥栖市 JAグリーンパレス
11. 28	鳥インフルエンザ緊急防疫対策会議	佐賀県庁 危機管理センター
12. 5	第13回佐賀県和牛改良組合共進会	多久市 JAさが畜産センター
12. 6	佐賀県人事委員会 公務員処遇改善要請	佐賀県庁 人事委員会事務局
12. 11	九州災害時動物救援センター派遣	九重町九州災害時動物救援センター
29年		
1. 21	小動物部会総会	嬉野市 ホテル華翠苑
1. 30	畜産協会馬飼養衛生関係事業対策検討会	佐賀市 グランデはがくれ ^{15:}
2. 1	三役会議	佐賀市 獣医師会事務局
2. 8	九州各県・市獣医師会会長・事務局長会議	北九州市リーガロイヤルホテル小倉
2. 14	農業共済組合家畜損害評価会	佐賀市 農業共済組合
2. 15	第4回理事会	佐賀市 ロイヤルチェスター佐賀
2. 17	犬魂祭	伊万里市 地藏院 16:00
2. 23	動物慰霊祭	佐賀市三ツ瀬動物管理センター ¹
2. 24	第59回佐賀県酪農婦人の集い	佐賀市 ホテルマリターレ創世佐賀
2. 24	日本獣医師会獣医学術学会年次大会(～26日)	石川市 石川県立音楽堂 他
3. 1	新規採用職員辞令交付式	佐賀市 獣医師会事務局
3. 1	佐賀県狂犬病予防等行政担当者会議	佐賀市 佐賀中部保健福祉事務所
3. 2	農業共済組合囑託獣医師契約事前協議	佐賀市 獣医師会事務局
3. 7	佐賀県畜産協会 通常理事会	佐賀市 JA会館4階特別会議室
3. 8	第2回学校飼育動物対策委員会	佐賀市 ロイヤルチェスター佐賀
3. 10	産業動物部会研修会	佐賀市 グランデはがくれ
3. 24	佐賀県畜産協会 臨時総会 臨時理事会	佐賀市 JA会館6階大会議室